

(2026年7月17日発表)

7月27日～8月2日 夏休み期間中の小学生への食支援「食育・食体験事業」の実施

静岡市では、公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団(以下「財団」という。)の支援を受け、「夏休み期間中の食育・食体験事業」として、期間中の家庭の負担軽減およびこどもたちの食の確保を目的に、市内の小学生3,000人を対象に、栄養とおいしさのバランスに配慮した「最適化栄養食」を無料で自宅へ配送します。

【趣旨・背景】

- ・2025年度に実施した静岡市こどもの生活実態調査において、「お金が足りないため必要な食料が買えなかった経験がある」と回答した小学5年生の保護者が全体の約2割となっており、こどもの食生活に関する経済的な課題が確認されています。また、学校給食の提供がない夏休み等の長期休業期間中は、栄養バランスの偏りなどが懸念されます。
- ・こうした状況を踏まえ、財団と連携し、夏休み期間中における食支援を実施します。本取組は、本市のほか、大阪市や神戸市など、全国で約17,000人を対象に実施されます。静岡市においては、今回が初めての実施となります。

【実施概要】

対象:市内の小学校に通学する小学生のうち、食支援を必要とする世帯

(財団から 3,000 人分の最適化栄養食の提供を受けたため、希望する世帯を事前募集した上で、就学援助制度を受けている家庭に優先的に配付)

募集期間:2026年6月26日(金曜日)から7月5日(日曜日)まで

配送期間:2026年7月27日(月曜日)から8月2日(日曜日)まで

支援内容:1人当たり8食分の「最適化栄養食」を配送

費用:無償(財団からの無償提供)

「公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団」:

「食とスポーツは健康を支える両輪である」という理念のもと、青少年の健全育成及び食育の推進などを目的に、スポーツ支援や食文化振興などの多様な事業を展開しています。

【問い合わせ先】

こども未来局 こども未来課(静岡庁舎 17 階)、担当:杉本・好川 電話:054-221-1169

【別添資料等】

有(財団作成プレスリリース)

NEWS RELEASE

2026 年 7 月 2 日

日本財団の助成で「子どもたちに栄養・学び・思い出を届ける」

夏休み中に広がりやすい格差に対応する

全国規模のアウトリーチ型支援

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団（理事長：安藤 宏基、以下 安藤財団）は、公益財団法人日本財団（以下 日本財団）の助成を受けた上で、同財団と連携し「夏休み期間中の子どもを対象とした食育・食体験プログラム」を 2026 年 7 月より新たに開始いたします。

**約 17,000 人への最適化栄養食による支援を入りに
ギネス世界記録™*1への挑戦や栄養セミナーを開催！**



こども家庭庁の「こどもまんなか実行計画 2026」*2では、経済的に困難な状況にある家庭の「貧困の連鎖」の断絶に向けて、教育や生活、食などの支援を一体的に強化することが掲げられています。同計画では、子ども宅食等による食品アクセスの確保と、アウトリーチ型支援*3を通じて支援が必要な子どもの早期発見・見守りを行うことで、夏休み等の長期休暇期間中も途切れることのない、地域全体で切れ目のない支援基盤を構築することが求められています。

あわせて、「夏休みこども緊急セーフティネット構築プラン」*4においても、登校の機会がなくなる夏休み期間中は、栄養のある食事を十分に確保できない子どもの存在や、表面化しにくい家庭の孤立といった課題が顕在化しやすいと指摘されています。

このような背景を踏まえ、安藤財団は、長年にわたり子ども支援に取り組んできた日本財団と連携し、給食がなくなる夏休み期間に着目し、日常の食事や教育的な体験活動に格差が生じるおそれのある子どもたちを中心に、新たなアウトリーチ型の支援を開始します。

本事業では、単なるカロリー補給にとどまらず、体に必要な栄養素（ビタミンやミネラル、たんぱく質など）がバランスよく適切に調整された「最適化栄養食」を、楽しく学べる食育プログラムとセットで、地方自治体や支援団体と連携しながら支援が必要な子どもたちに届けます。

さらに、この食支援を入りに、ギネス世界記録™への挑戦やアスリートを招いた栄養セミナーなどを通じて、栄養・学び・思い出づくりにつなげます。これにより、子どもたちの孤立を防ぎ、夏休みに拡大しがちな「食」と「体験」の格差の解消を目指します。

■「夏休み期間中の食育・食体験事業」概要

- 対 象：**全国の経済的支援を必要とする家庭の 18 歳以下の子ども
時 期：2026 年 7 月下旬 ～ 10 月頃（各プログラムにより異なります）
費 用：無料（対象家庭の経済的負担は発生しません）

*1 Largest instant rice cup party in online and a single venue
（オンラインと単一会場で行われた最大のインスタントライスカップパーティー）

*2 こども家庭庁「こどもまんなか実行計画 2026」令和 8 年 6 月

*3 なんらかの支援が必要な人に対して、積極的に必要なサービスや情報を届ける取り組み

*4 こども家庭庁ほか「夏季休業期間中の酷暑対策及び食支援に係る各施策の活用について（依頼）」令和 8 年 5 月 15 日付事務連絡

■主なプログラム内容

1.【食育・食体験】食を入り口とした多彩な体験プログラムの提供

イベント名：プロバスケットボール選手と学ぶ栄養セミナー

～学んで食べてギネス世界記録にチャレンジ！～

開催日：2026年8月30日(日)

定員：現地参加 100名、オンライン参加 1,000名

「カップヌードルミュージアム 横浜」にて、プロバスケットボール選手との交流やクイズを交えた栄養セミナーを実施します。あわせて、セミナー後には栄養バランスの整った「最適化栄養食」を食べてギネス世界記録に挑戦します。

また、上記に加え、農業体験やオンラインクッキングセミナーなど、子どもたちに食を通じた学びや社会とのつながりを創出するため、複数の企業等と連携し、体験機会を提供します。



2.【食支援・食育プログラムの提供】最適化栄養食の提供

対象となる子どもたちに、日本最適化栄養食協会が認証する「最適化栄養食」を一人あたり8食相当のセットにして提供し、夏休みの欠食を防ぐとともに、栄養を補います。

大阪市をはじめとする全国の地方自治体等と連携し、約17,000人への支援を予定しています。

■安藤スポーツ・食文化振興財団について

安藤財団は、創設者・安藤 百福の「食とスポーツは健康を支える両輪である」という理念のもと、青少年の健全な心身の育成と社会のウェルビーイング向上に取り組んでいます。スポーツ支援、自然体験活動、食文化振興、発明記念館運営、社会福祉の5つの事業を通じて多様な学びと成長の機会を提供するとともに、新たな社会課題にも対応しています。

■日本財団について

痛みも、希望も、未来も、共に。

日本財団 (<https://www.nippon-foundation.or.jp/>) は1962年、日本最大規模の財団として創立以来、人種・国境を越えて、子ども・障害者・災害・海洋・人道支援など、幅広い分野の活動をボートレースの売上金からの交付金を財源として推進しています。

■最適化栄養食とは

「最適化栄養食」は、年齢や性別、生活習慣などに応じて、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整された食です。認証マークは「日本最適化栄養食協会 (<https://www.saiteki-eiyo.org/>)」に登録された栄養設計基準を過不足なく満たすことのできた製品にのみ付与されます。



最適化栄養食の
認証マーク

《この件に関するお問い合わせ先》

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団

事務局 橘・藤原

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2丁目3-4 TEL 045-345-4335

info-foundation@ando-zaidan.jp

(火曜日、年末年始は休業)



公益財団法人

安藤スポーツ・食文化振興財団